

第二回

「世界の日本語学習者・【日本語作文コンクール】」

テーマ

「日本」あるいは「日本人」に言いたいこと

「日本」の国と「日本人」に対する、批判・疑問・注文・期待など何でも書いてください！

参考資料＝「デジタル版・日本語教材【『日本』という国】」<http://www.nihonwosiru.jp/>

「字数＝500 字以上 1,000 字以内」

【応募資格】＝「日本語」を勉強している外国籍の人なら誰でも！

「海外の大学生・院生、小・中・高校生」、「日本国内の留学生、日本語学校生」、「社会人・主婦」

【応募方法】 メール（添付）のみ＝応募は、個人でも、「大学・学校」単位でもOK。

yuraumi@yahoo.co.jp（国際交流研究所）へ

応募者の「氏名、国籍、年齢、性別、学校名か職業、住所・連絡先」を明記

【締め切り】＝2018年10月1日（月）必着

【賞品】☆個人賞（個人単位で審査）＝（賞状の送付はPDFの場合も）

一等賞＝【海外在住の日本語学習者】賞状＋日本招待・8日間 1人

【日本在住の日本語学習者】賞状＋学習奨励金・20万円 1人

二等賞＝賞状＋学習奨励金・3万円 10人

三等賞＝賞状＋学習奨励金・1万円 50人

☆学校賞（10編以上応募の大学、日本語学校、日本語教室などから選考）

優秀賞＝賞状＋日本語教材「『日本』という国」・30冊 10校以上

優良賞＝賞状＋日本語教材「『日本』という国」・10冊 30校以上

（「『日本』という国」（約220頁）は、2019年1月頃出版予定）

【審査】「一次審査」＝大森和夫・大森弘子がすべての作文を読んで「入賞候補作文」を選ぶ。

「二次審査」＝二次審査員が「入賞候補作文」を審査。採点の合計点で順位を決定。

◇二次審査員＝氏岡 真弓（朝日新聞編集委員）

川村 恒明（元文化庁長官。元国立科学博物館長）

高 媛（駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部准教授）

野村 彰男（元国連広報センター所長。元国際交流基金日米センター所長）

早野 透（政治コラムニスト。桜美林大学名誉教授） 《敬称略》

【発表】 2019年1月中。国際交流研究所のHP <http://www.nihonwosiru.jp/>で。

主催－大森和夫・大森弘子（国際交流研究所） Mail:yuraumi@yahoo.co.jp

後援－朝日新聞社。（2018年4月1日時点。ほかに申請中）

協力－笈川幸司（ジャスロン代表）。段躍中（日本僑報社）＝（敬称略）